

企業局の広報展開の取組

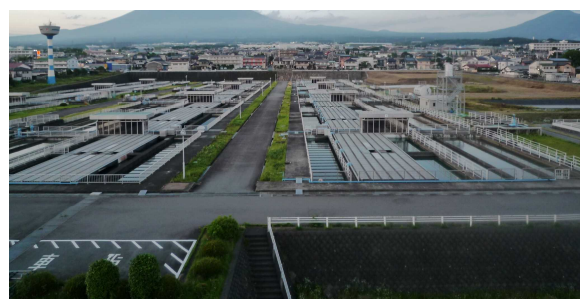


令和2年1月27日

企業局

1. 現状分析・目標

企業局の工業用水・水道



- 他県に先行して事業開始、設置後50年以上で、施設が老朽化
- 延べ730kmの重厚長大な管路網
- 7,304億円の巨額な更新費用
- 大口ユーザーの使用廃止(撤退ではない)

独立採算 経営革新が必須！

トータルコストの削減と収益増大！

1. 現状分析・目標

マスタープランのダウンサイジング
2,762億円削減 (7,304億円 **4,542億円**)

それでも巨額
一層の削減が必要

タスクフォースによる経営革新

- 資金運用の対象拡大
受取利息 + 2,000万円
 - 水質検査による漏水原因特定
不要な工事費 1,700万円
 - 電力契約の集中、長期化
電力料金3年で 6億円
 - 合筆による登記簡素化
用地引き渡し期間4か月短縮
 - ⋮
- 合計 年2億4,800万円削減**

革新された内容を発信
「全国の模範となる取組」
「全国初の取組」など

企業局のプレゼンス向上へ！
広報で企業局の応援団を増やす！
県内外の事業者の反応にも期待！
(他地域からの革新的取組の新情報) ³

2. 広報展開のポイント

広報展開の順番

・国や他県が注目する内容か？

・インフルエンサーの反応は？

・の段階を踏み本丸へ！

官庁速報

県議会
委員会

メディア

認知度向上

記事化働きかけ
iJAMP掲載
反響フィードバック

質問
積極答弁

記事化働きかけ
新聞等掲載
反響フィードバック

ユーザー企業に
確実に情報が届いた
企業局の経営努力
が周知された

企業局

広報展開の一連のシステムとして構築！！

2. 広報展開のポイント

・官庁速報(時事通信社) 国や他県が注目する 内容か？

企業局の「全国の模範となる取組」を情報提供し、掲載につなげる



「iJAMP」への掲載 7件
全国の企業局で最大掲載件数
うち「ニュースランキングベスト10」 5件
「本社デスクが選ぶ厳選」 4件

・県議会産業委員会 インフルエンサーの反応は？

「iJAMP」掲載記事を元に、革新的取組を積極的に答弁、**委員が応援団として！**
委員長がメディアに対して、企業局に積極的に取材するよう働きかけ
会派への予算説明では拍手も！

2. 広報展開のポイント

・メディア 、 の段階を踏み本丸へ！

、 を元に、新聞・メディアへのパブリシティを働きかける
取材には、各課長が「広報官」として責任をもって対応

【掲載実績】
静岡新聞 4回(うち1面に1回)
読売新聞 1回、日経新聞 1回



課長は、掲載された記事の反響を、記者に必ずフィードバック
企業局長等からも、記者の上席(支局長など)に対してフォローを入れる
継続することで、記者も育て、信頼関係、記事内容の向上へ！

3. 効果・検証

官庁速報に「全国の模範となる取組」「革新的な取組」として掲載されることが、新聞メディア掲載につながることで立証された

効果

記者がポイントをわかりやすく、客観的に要約、ユーザーの共感を得られやすかった

新聞「県内政治」欄への掲載により、工水ユーザーの経営陣へ確実に情報を届けた

「iJAMP」で他県に情報発信することで、他県からも新しい情報を収集、winwinの関係構築

検証

掲載後、記者に対して記事の反響を確実にフィードバックすることで、信頼関係を構築(次の記事化へと好循環)

「時事通信 県議会委員会 メディア」と段階を踏むことで、効果的なメディア掲載につなげた

県議会での積極答弁により、委員からもメディアに働きかけがあった

7

4. 企業局の今後のビジョン

【現在まで】

老朽水道施設の更新費用
ダウンサイジングで 2,762億円

トータルコストの削減
タスクフォースで 2億4,800万円

地域振興整備事業
県の水をセールスポイントとして企業誘致の推進

【重点取組】

バックカastingにより更新費用をさらに **1,000億円へ!**

職員の創意工夫、新しい視点での経営革新で、**毎年 4億円に!**

新たな造成方式「セミレディーメードで、**造成力50%アップ!**

廉価な用水の安定供給を維持するため、経営基盤を強化します!

8